



# 目次

1.サクラ再生プロジェクト「サクラサク」概要と歴史	2 p
2.サクラの再生イメージ図	3 p
3.サクラのエリアと再生期間	4 p
■第1期 サトザクラ品種系エリア	5 p
■第1期 お花見ピクニックエリア	6 p
■第2期 サクラのトンネルエリア（ジンダイアケボノ）	7 p
■第2期 早咲き・二季咲きエリア	8 p
■第3・4・5期 サクラのトンネルエリア（ソメイヨシノ）	9 p
4.サクラの再生手法と費用概算	10 p

サクラ再生プロジェクト「サクラサク」基本計画  
狭山稲荷山公園  
〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-23-1  
Tel 04-2955-3228  
<https://www.seibu-green.co.jp/inariyama/>

作成者  
指定管理者 狭山稲荷山公園パートナーズ  
代表者 西武緑化管理株式会社  
構成員 株式会社植清園  
作成日 2023年10月

※当プロジェクトについてスケジュール等を変更する場合がございます。

# 狭山稲荷山公園

## 1. サクラ再生プロジェクト「サクラサク」概要と歴史

### ●概要

狭山稲荷山公園は開園当時より桜の名所として県民に親しまれており、2022年で埼玉県営狭山稲荷山公園として開園20周年を迎えました。

戦後、約300本の桜が植えられて、およそ70年以上経ちますが、近隣住民の憩いの場としてお花見を楽しむ姿は今もなお続いています。ただ、主な桜のソメイヨシノは老木となり寿命が近づいています。落枝等への安全対策も急務です。埼玉県と指定管理者が協力し、公園の桜の歴史を守り、未来のお花見を提案するサクラ再生プロジェクト「サクラサク」として中長期計画を策定し、桜の保存と新たな植樹を進めていく方針です。

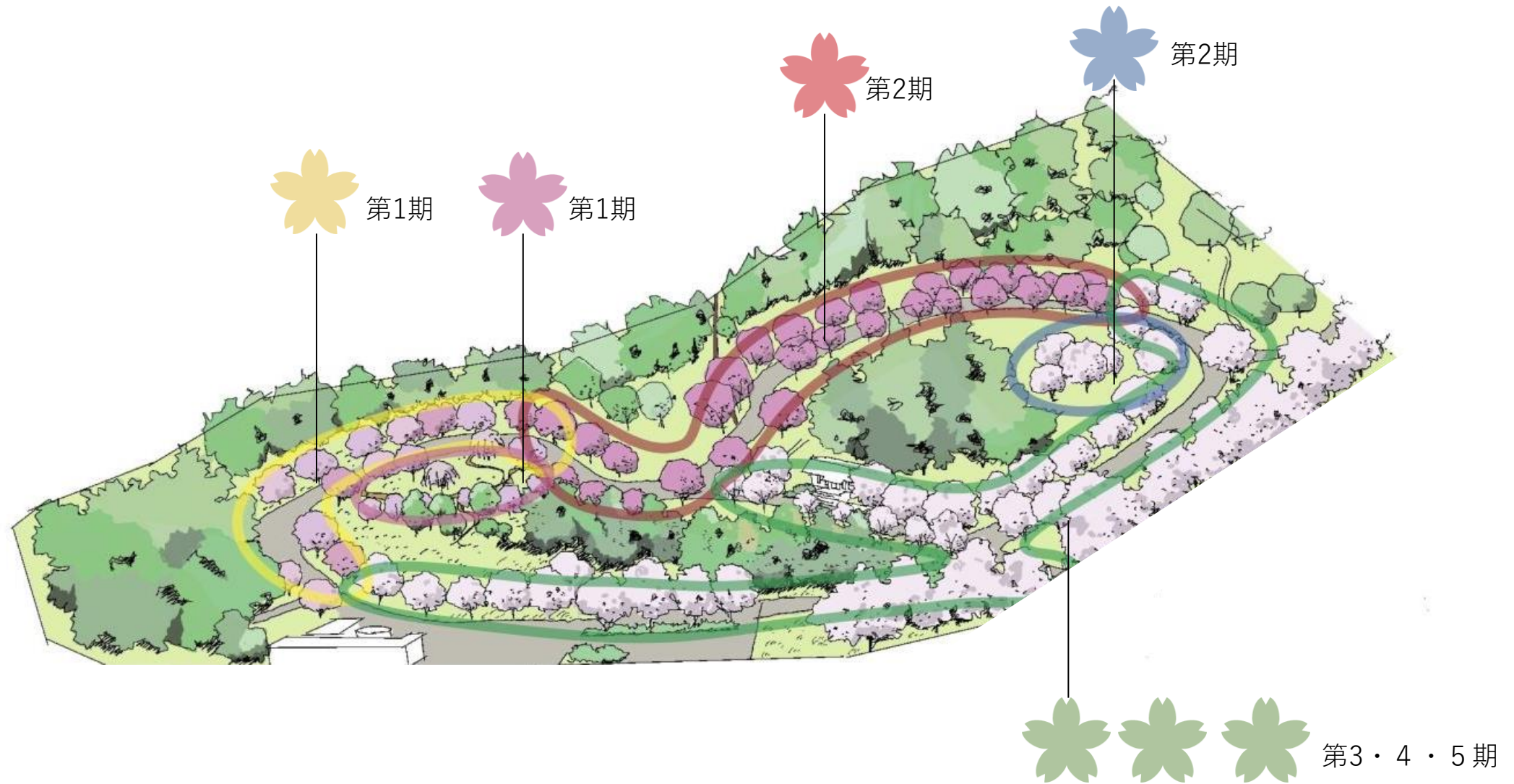


桜花期の現在の桜

### ●歴史

- 1912年（大正元年）11/15大正天皇統治の陸軍特別大演習（48,700人、軍馬8200頭）が入間川をはさんで行われ、天皇は稲荷山（現みはらし台）から視察される。
- 1938年（昭和13年）現入間基地エリアに陸軍航空士官学校が開校される。昭和16年昭和天皇により「修武台」と命名。
- 1945年（昭和20年）アメリカ軍（GHQ）進駐、1946年（昭和21年）「修武台」はジョンソン空軍基地と改められる。当公園を含む周辺エリアも接収される。
- 1946年（昭和21年）GHQは日本政府に対し兵士の家庭用住宅建設を命じ、当公園あたりは「ハイパーク」と呼ばれた。その後、アメリカ人と日本人の文化交流も見られた。
- 1951年（昭和26年）戦後荒れ果てていた稲荷山エリアに管理委員会が生まれ、サクラの苗木が植えられ、次第に整備される。
- 1963年（昭和38年）ジョンソン空軍基地が返還され、自衛隊入間基地となる。
- 1974年（昭和49年）「ハイパーク」跡地は国から狭山市が管理委託を受け、桜の季節等に関し特別開放される。
- 1976年（昭和51年）「ハイパーク」跡地は稲荷山公園として常時開園が始まる。
- 2002年（平成14年）「ハイパーク」跡地は正式に「埼玉県営狭山稲荷山公園」となる。
- 現在に至る

## 2.サクラの再生イメージ図



### 3.サクラのエリアと再生期間

5年ごとの指定管理期間に合わせ、今期間の2023年～2025年の3年を第1期として、サトザクラ品種系エリア、お花見ピクニックエリアに植栽します。次期5年間の2026年～2030年を第2期とし、サクラのトンネルエリア（ジンダイアケボノ）、早咲き・二季咲きエリアに植栽します。最後の15年間の2031年～2045年を第3・4・5期とし、サクラのトンネルエリアは完成系として当公園で永く親しまれてきたソメイヨシノを再生していきます。



第1期・・・2023年度～2025年度（3年間）



「サトザクラ品種系エリアの創出」



「お花見ピクニックエリアの創出」



第2期・・・2026年度～2030年度（5年間）



「サクラのトンネルエリア」（ジンダイアケボノ）



「早咲き、二季咲きエリア」



第3期・・・2031年度～2035年度（5年間）

「サクラのトンネルエリア」（ソメイヨシノ）



第4期・・・2036年度～2040年度（5年間）

「サクラのトンネルエリア」（ソメイヨシノ）



第5期・・・2041年度～2045年度（5年間）

「サクラのトンネルエリア」（ソメイヨシノ）

# ■第1期 サトザクラ品種系エリア

## <桜の園vol.1>

### ●第1期・・・2023年度～2025年度

#### 🌸 サトザクラ品種系のエリアの創出

桜の開花時期が違う品種系の桜を植樹することで開花リレーが楽しめるエリアとします。また、大輪や八重のさまざまな花びらに特徴を持つ桜や、薄いピンクや濃いピンクの色のグラデーションも楽しむことができる新しいエリアを創出します。



### ●品種と形状

<形状>  
樹高 2.5m程度  
幹周 0.18m  
植栽間隔 5～7m程度

#### <品種>

カンザン (関山) / ショウゲツ (松月)  
タキザクラ (滝桜) / ヨウコウ (陽光)  
イチヨウ (一葉) / カンヒザクラ (寒緋桜)  
フゲンゾウ (普賢象) / ウコン (鬱金) 等



<現在>



<完成イメージ>



<カンザン> (関山)  
東京府江北村 (現・東京都足立区)の荒川堤で栽培されていた品種です。花色が濃紅色で美しく、生育もよいので海外でも広く栽培されています。また、お祝いの席で出される桜湯にはこの花の塩漬けが多く用いられます。  
提供元: (公財) 日本花の会



<ショウゲツ> (松月)  
東京府江北村 (現・東京都足立区)の荒川堤で栽培されていた品種です。八重桜の中では最も優美な品種です。  
提供元: (公財) 日本花の会



<ヨウコウ> (陽光)  
愛媛県東温市の高岡正明により、天城吉野に寒緋桜を交配して作出された品種で、1981年に種苗法に基づいて品種登録がされました。  
提供元: (公財) 日本花の会



<イチヨウ> (一葉)  
樹形広卵状樹高木花形八重咲花の大きさ大輪花色淡紅開花期4月中旬東京府江北村 (現・東京都足立区)の荒川堤で栽培されていた品種です。花の中にある1本の雌しべが葉化していることからこの名が付けられました。八重咲品種の中では樹勢が強健です。  
提供元: (公財) 日本花の会



<フゲンゾウ> (普賢象)  
東京府江北村 (現・東京都足立区)の荒川堤で栽培されていた品種です。室町時代から知られ、葉化した2本の雌しべの先端が曲がっていて、その状態が普賢菩薩が乗っている象の鼻に似ていることからこの名が付いたといわれています。  
提供元: (公財) 日本花の会



<ウコン> (鬱金)  
東京府江北村 (現・東京都足立区)の荒川堤で栽培されていた品種です。淡黄緑色の花色が、ウコンという植物の根茎を使って染めた色(鬱金色)に似ていることからこの名が付けられたといわれています。黄緑色に緑の筋が入る御衣黄とは系統的に近縁で、鬱金の中にも緑の筋が入る個体が知られています。  
提供元: (公財) 日本花の会

# ■第1期 お花見ピクニックエリア

## <桜の園vol.2>

### ●第1期・・・2023年度～2025年度

#### 🌸新しいお花見ピクニックエリアの創出

起伏のある広場にシダレザクラを中心とした新しいピクニックエリアを創出します。ゆっくりシートを敷いてお弁当を食べながらお花見ピクニックを楽しめるエリアとなります。



### ●品種と形状

#### <形状>

樹高 2.5m程度  
幹周 0.18m  
植栽間隔 5～7m程度

#### <品種>

ヤエベニシダレ（八重紅枝垂桜）  
シダレザクラ（枝垂桜）/ヤマザクラ（山桜）  
オオシマザクラ（大島桜）/ヤエザクラ（八重桜）  
オオヤマザクラ（大山桜）等



<現在>



<完成イメージ>



<ヤエベニシダレ>（八重紅枝垂）  
荒井泰治（仙台出身の貴族院議員）の話として昔、京都府京都市・京都御所から鹽竈神社に下賜された桜といわれ、原木からのひこばえと推定される個体が現存しています。別名の遠藤桜は明治年間に宮城県仙台市長であった遠藤康治が仙台市内に植えたためといわれています。遠藤は1895年に京都の平安神宮に献上、神苑内はこの枝垂桜の名所となっています。  
提供元: (公財) 日本花の会



<シダレザクラ>（枝垂桜）  
エドヒガンの枝が枝垂れたもので、その他の形質はエドヒガンと違いありません。エドヒガンと同様に個体により花色や花の大きさに変異が多くみられます。  
提供元: (公財) 日本花の会



<ヤマザクラ>（山桜）  
本州、四国、九州、朝鮮半島に分布する野生種です。成木の成葉裏面が帯白色になる特徴があります。古来より観賞の対象とされた桜で、奈良の吉野山は現在も有名な名所地です。  
提供元: (公財) 日本花の会



<オオシマザクラ>（大島桜）  
伊豆諸島に分布する野生種で、房総半島や伊豆半島南部に多くみられるものは薪炭用に栽培されていたものが野生状態になったといわれています。葉や花が大きく、花に芳香のあるものも多く、形態や開花期などに多くの変異がみられます。里桜類に含まれる多くの品種のもとになった桜といわれ、他の桜との交雑によって生じたと思われる品種が多数知られています。  
提供元: (公財) 日本花の会

## ■第2期 サクラのトンネルエリア（ジンダイアケボノ）

### <桜の架け橋vol.1>

●第2期・・・2026年度～2030年度

#### 🌸ソメイヨシノからジンダイアケボノへの更新

サクラのトンネルエリアでは現在植栽されているソメイヨシノからジンダイアケボノに更新し、新しい品種の植栽に挑戦します。ジンダイアケボノは日本原産の交雑種のソメイヨシノ系と推測されている栽培品種で、原木は調布市の神代植物園にあります。ソメイヨシノより花の色が少し濃く、てんぐ巣病にもかかりにくく、平均樹高もソメイヨシノより低い人気の桜となっています。

#### ●品種と形状

<形状>

樹高 3.0m程度

幹周 0.18m

植栽間隔 7～8m程度

<品種>

ジンダイアケボノ（神代曙）



〈ジンダイアケボノ〉（神代曙）  
原木は東京都調布市・神代植物園にありアケボノと呼ばれていましたが、西田尚道により異なる品種であることが発見され、林弥栄により植栽地と旧名に因んで名付けられました。ソメイヨシノ系の品種で花色が淡紅色でやや濃くなります。サクラ類てんぐ巣病に罹り難いことから当会では染井吉野に代わる桜として、積極的に配布しています。  
提供元：（公財）日本花の会



〈現在〉



〈完成イメージ〉



## ■第2期 早咲き・二季咲きエリア

### <早春の桜と秋の桜>

#### ●第2期 2026年度～2030年度

早咲き・二季咲きの品種を植栽し、  
早春の桜と秋の桜を楽しめる新たな  
エリアの創出

桜の少ないエリアに早春の2月頃に開花するカワヅザクラを植栽します。

また、春と秋から冬にかけて咲く二季咲きの四季桜やアーコレード等を植栽し、四季を通じて桜が楽しめる公園を演出します。

#### ●品種と形状

##### <形状>

樹高 2.5m程度  
幹周 0.18m  
植栽間隔 5～7m程度

##### <品種>

春 ・カワヅザクラ（河津桜）  
春と秋・シキザクラ（四季桜）  
秋 ・アーコレード 等



〈カワヅザクラ〉（河津桜）  
原木は伊豆半島の河津町・飯田典延邸にあり、1950年頃に野生していたものをここに移植したといわれています。カンヒザクラと他種（オオシマザクラ？）との雑種と推定されます。河津町では、増殖して川沿いに多く植えたものが温暖な気候により2月下旬から1ヶ月以上にわたり開花します。  
提供元：（公財）日本花の会



〈シキザクラ〉（四季桜）  
エドヒガンとマメザクラの雑種と推定されるコヒガン系の桜です。秋は10月頃から咲き始め、暖かいところでは冬の間も少しずつ咲きつづけます。個体により花色や花の大きさなどに差異があり、各地で独特の名が付けられていることが多い桜です。  
提供元：（公財）日本花の会



〈アーコレード〉  
英国でオオヤマザクラと小彼岸の交配により育成された品種です。英国での開花期は春とされていますが、日本では環境条件によるものか、秋は9～11月頃開花する二季咲きとなっています。十月桜に比べ、淡紅色、大輪咲の美しい品種です。  
提供元：（公財）日本花の会



〈現在〉



〈完成イメージ〉

## ■第3・4・5期 サクラのトンネルエリア (ソメイヨシノ)

### <桜の架け橋vol.2>

●第3・4・5期・・・2031年度～2045年度

#### 🌸 土壌改良工法によるソメイヨシノの再生

ソメイヨシノ（染井吉野）はエドヒガンとオオシマザクラの雑種で江戸末期に江戸染井村（豊島区）の吉野桜の名前で広く日本に植えられた桜です。戦後、当公園にも多くの木が植えられました。美しい桜のトンネルの景観は大きな魅力となっています。そのソメイヨシノの伝統的な景観を更新します。

#### ●品種と形状

<形状>  
樹高 4.0m程度  
幹周 0.2m  
植栽間隔 7～8m程度

#### <品種>

ソメイヨシノ（染井吉野）



<ソメイヨシノ>（染井吉野）  
江戸時代末期に江戸染井村（現・東京都豊島区）の植木屋が「吉野桜」として売り出したと伝えられ、1900年に藤野寄命により染井吉野と名付けられました。オオシマザクラとエドヒガンの雑種と推定され、その起源については複数の説があり、明らかになっていません。サクラ類てんぐ巣病に罹るとともに、最近は増生症状の罹病樹が増加しているため、その対策が急務となっています。  
提供元: (公財) 日本花の会



<現在>



<完成イメージ>

## 4.サクラの再生手法と費用概算

現在あるソメイヨシノを3つの方法により再生します。

1.新規植栽、2.伐採・伐根後の新規植栽、3.根系再生・植栽基盤改良工法などにより再生を行います。

### <再生手法>

方法1.新規植栽

→現在植わっていない箇所に新植する。

方法2.伐採・伐根後の新規植栽

→現在と同じ箇所に植え替える。

方法3.根系再生（環状剥皮等）・植栽基盤改良

→現状弱っている樹木の再生を図る。\*右図参照

### <費用概算（1本あたり・税抜）>

方法1.新規植栽（樹高2.5～5m、幹周0.18m～0.45m）・・・10～30万円

方法2.伐採・伐根後の新規植栽・・・約30万円

方法3.根系再生（環状剥皮等）・植栽基盤改良・・・約40万円

(例)  
方法3  
根系再生（環状剥皮等）・植栽基盤改良工法

